

EPSON

# Endeavor sv1000



## ユーザーズマニュアル

### ご使用前に

コンピューターをご使用の際は、必ず「マニュアル」をよくお読みください。

# 目次

## はじめに

製品保護上の注意.....	4
マニュアル中の表記.....	7
各部の名称.....	9
RAID 機能.....	11

## 1

### 装置の増設・交換

増設・交換できる装置.....	16
作業時の注意.....	17
装置装着時の準備作業.....	18
メモリーの装着.....	21
拡張ボードの装着.....	27
ドライブ装置とコネクタの接続.....	33
HDD の装着.....	35

## 2

### UEFI の設定

UEFI の設定を始める前に.....	42
UEFI Setup ユーティリティの操作.....	43

## 付録

お手入れ.....	50
リチウム電池の脱着（CMOS RAM の初期化）.....	51
コンピューターを廃棄するときは.....	55
機能仕様一覧.....	56



# はじめに

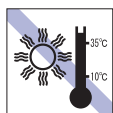
本機を使い始める前に知っておいていただきたい事項を説明します。

製品保護上の注意.....	4
マニュアル中の表記.....	7
各部の名称.....	9
RAID 機能.....	11

# 製品保護上の注意

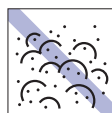
## 使用・保管時の注意

コンピューター（本機）は精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。



温度が高すぎる所や、低すぎる所には置かないでください。また、急激な温度変化も避けてください。

故障、誤動作の原因となります。適切な温度の目安は 10℃～35℃です。



ホコリの多い所には置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。



温度が低い場所から温度が高い場所へ本機を急に移動させると、結露が発生する場合があります。

結露したまま本機を使用すると、故障、誤動作の原因となります。

結露が発生した場合は、本機が室温と同じくらいの温度になるのを待ってから、使用してください。



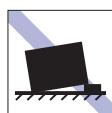
直射日光の当たる所や、発熱器具（暖房器具や調理器具など）の近くなど、高温・多湿となる所には置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

また、直射日光などの紫外線は、変色の原因となります。



他の機械の振動が伝わる所など、振動しやすい場所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。



不安定な所には設置しないでください。

落下したり、振動したり、倒れたりすると、本機が壊れ、故障することがあります。



テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものの近くに置かないでください。誤動作やデータ破損の原因となることがあります。逆に、本機の影響でテレビやラジオに雑音が入ることもあります。



電源コードが抜けやすい所（コードに足が引っかかりやすい所や、コードの長さがぎりぎりの所など）に本機を置かないでください。

電源コードが抜けると、それまでの作業データがメモリー上から消えてしまいます。



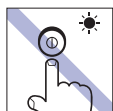
コンピューターを設置する際は、マニュアルで指示されている以外の置き方をしないでください。

故障、誤動作の原因となります。



本機の上には重い物を載せないでください。

重圧により、故障や誤動作の原因となります。



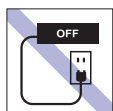
アクセスランプ点灯・点滅中は、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



本機の汚れを取るときは、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。

変色や変形の可能性があります。

柔らかい布に中性洗剤を適度に染み込ませて、軽く拭き取ってください。



コンセントに電源プラグを接続したまま、本体カバーを外して作業しないでください。電源を切っても、本機内部に微小な電流が流れているため、ショートして故障の原因となります。



移動するときは、振動や衝撃を与えないようにしてください。

内蔵の周辺機器（HDD、光ディスクドライブなど）も含めて、故障、誤動作の原因となります。



輸送や保管をするときは、付属物をセットしたままにしないでください。  
配線ケーブルはすべて取り外し、光ディスクメディアなどは取り出してください。



本機を梱包しない状態で、遠隔地への輸送や保管をしないでください。  
衝撃や振動、ホコリなどから本機を守るため、専用の梱包箱に入れてください。



無停電電源装置（UPS）を使用する場合は、正弦波出力のUPSを使用してください。正弦波出力以外のUPSを使用すると、本機が起動できなくなったり、動作が不安定になったりする場合があります。

## 光ディスクメディア

光ディスクメディアは、次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、光ディスクメディアに収録されているデータが破損するおそれがあります。



直射日光が当たる所、発熱器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。



ゴミやホコリの多い所では、使用したり保管したりしないでください。



上に物を載せないでください。



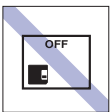
キズを付けしないでください。



クリップで挟む、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。



アクセスランプ点灯・点滅中は、光ディスクメディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



使用後は、本機にセットしたままにしたり、ケースに入れずに放置したりしないでください。



温度差の激しい場所に置かないでください。結露する可能性があります。



信号面（文字などが印刷されていない面）に触れないでください。



信号面（文字などが印刷されていない面）に文字などを書き込まないでください。



シールを貼らないでください。



レコードのように回転させて拭かないでください。  
内側から外側に向かって拭いてください。



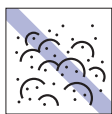
レコードやレンズ用のクリーナーなどは使わないでください。  
クリーニングするときは、CD専用クリーナーを使ってください。



光ディスクドライブのデータ読み取りレンズをクリーニングするCDは使わないでください。

## マウス

マウスは精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。



ゴミやホコリの多いところで使用したり、保管したりしないでください。レンズにゴミやホコリが付いたまま使用すると、誤動作の原因になります。



レンズ部分に触れないでください。



落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。





持ち運びの際はマウス本体を持ってください。ケーブルを持って運ばないでください。

# マニュアル中の表記










## 安全に関する記号

本書では次のような記号を使用しています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


## 一般情報に関する記号

本書では、次のような一般情報に関する記号を使用しています。

	制限事項です。 機能または操作上の制限事項を記載しています。
	参考事項です。 覚えておくと便利なことを記載しています。
	操作手順です。 ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。
	手順が次ページに続くことを示します。
	 で囲んだマークはキーボード上のキーを表します。  は Enter キーを表します。また、  は  のことです。このように必要な部分のみを記載しているため、キートップに印字された文字とは異なる場合があります。

## 参照先に関する記号

本書では、次のような参照先に関する記号を使用しています。

	本書内の参照ページを示します。
「 」	マニュアルの名称を示します。 例) 『RAID ボード取扱説明書』

## 名称の表記

本書では、本機で使用する製品の名称を次のように表記しています。

HDD	ハードディスクドライブ
光ディスクメディア	CD メディア、DVD メディア、Blu-ray Disc メディアなど
光ディスクドライブ	光ディスクメディアを使用するためのドライブの総称

## オペレーティングシステム (OS) に関する表記

本書では、オペレーティングシステム (OS) の名称を次のように略して表記します。

Windows Server	Windows Server <sup>®</sup> 2019 Standard Windows Server <sup>®</sup> 2019 Essentials
----------------	--

## HDD 容量の記載

本書では、HDD 容量を 1GB (ギガバイト) = 1000MB として記載しています。

## メモリー容量の記載

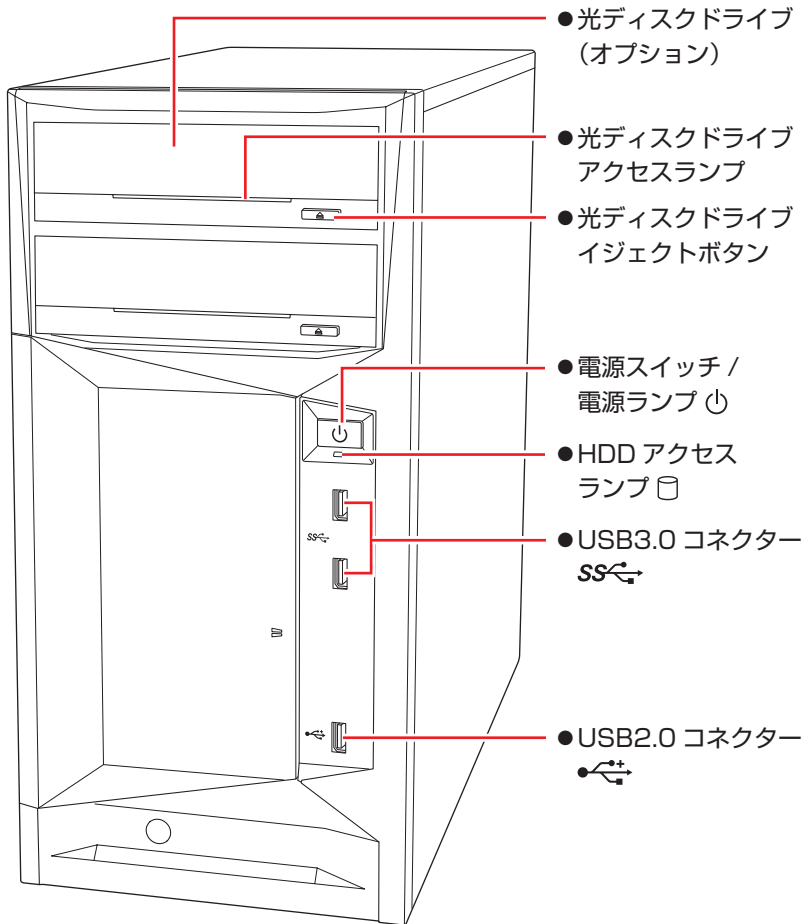
本書では、メモリー容量を 1GB (ギガバイト) = 1024MB として記載しています。



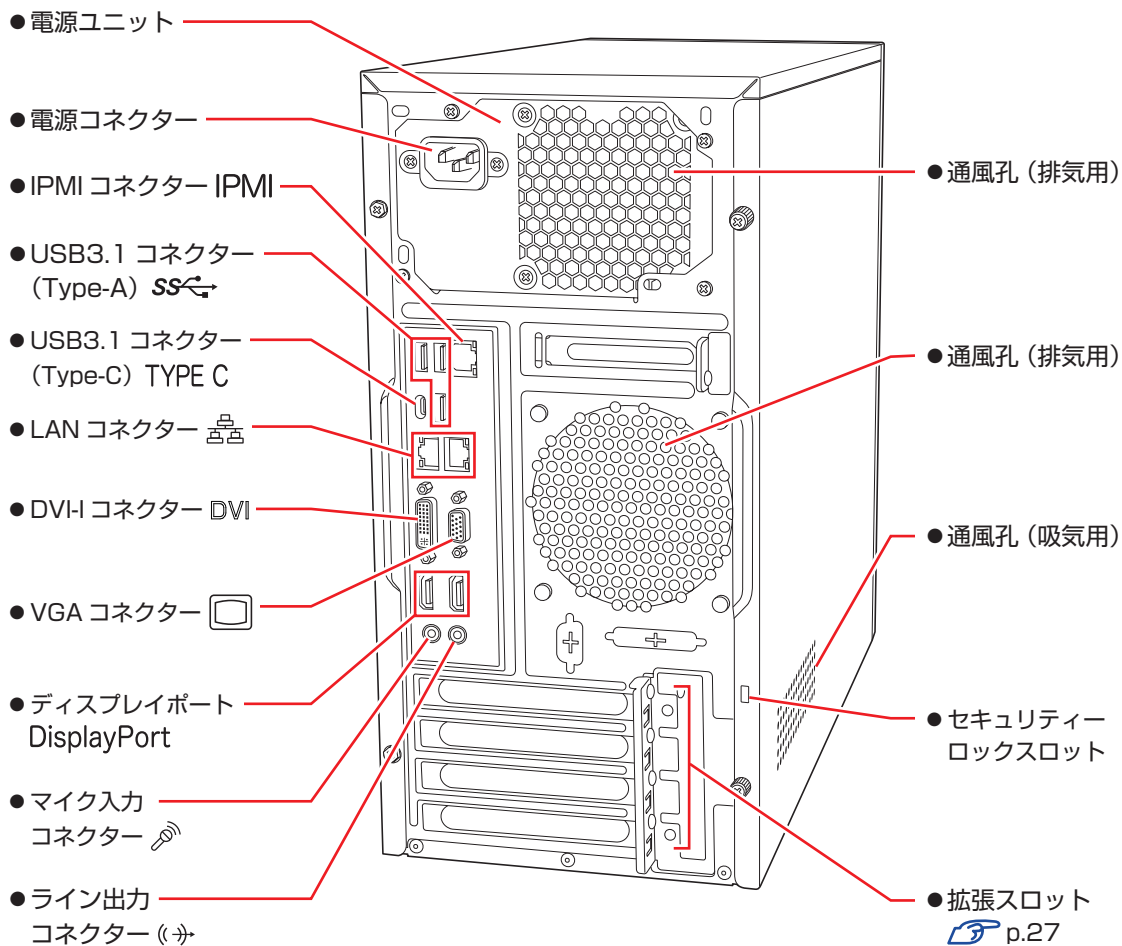
# 各部の名称

本機の各部の名称を記載します。

## 前面



## 背面



※ 購入時、本機はアナログ出力 (VGA) に設定されているため、初回起動時は本機とディスプレイをアナログ接続してください。

デジタル出力 (DVI、ディスプレイポート) する場合は、UEFI Setup ユーティリティで設定してください。

[p.48](#) 「ディスプレイの出力切替 (アナログ / デジタル)」

# RAID 機能

RAID とは、同一容量の HDD を複数組み合わせるシステムのことです。  
ここでは、本機で使用できる RAID の種類や、マザーボードの機能で RAID を構築 / 再構築する方法について説明します。

※ 購入時に RAID ボードでの RAID 構成を選択された場合は、『RAID ボード取扱説明書』をご覧ください。

## RAIDの種類

本機で使用できる RAID は、RAID 1 です。

種類	別名	HDD 必要数	特徴
RAID 1	ミラーリング	2 基	2 基の HDD に同時に同じデータを書き込む。一方の HDD が故障しても、もう一方の HDD からデータを復旧することができる。

## RAIDの構築

同一容量の HDD が 2 基搭載されていれば、マザーボードの機能を使って RAID を構築することができます。

RAID の構築は、UEFI Setup ユーティリティで行います。

RAID の構築方法は次のとおりです。


※ 購入時に RAID 構成を選択した場合は、あらかじめ RAID が構築されています。



RAID を構築すると、HDD に収録されているデータはすべて消失します。  
RAID を構築する前に、重要なデータをバックアップしてください。

- 1** UEFI Setup ユーティリティを起動します。  
 p.43 「UEFI Setup ユーティリティの起動」
- 2** 「Advanced」メニュー画面 - 「SATA And RST Configuration」 - 「SATA Mode Selection」を「RAID」に設定します。
- 3** 「Advanced」メニュー画面 - 「SATA And RST Configuration」 - 「Storage Option ROM/UEFI Driver」を「UEFI」に設定します。
- 4** **[F4]** を押して、UEFI Setup ユーティリティを終了します。  
 p.47 「UEFI Setup ユーティリティの終了」
- 5** 再度、UEFI Setup ユーティリティを起動します。  
 p.43 「UEFI Setup ユーティリティの起動」



- 6 「Advanced」メニュー画面－「Intel (R) Rapid Storage Technology」－「Create RAID Volume」を選択します。
- 7 「Create RAID Volume」画面が表示されたら、次の項目を設定してください。  
「RAID Level」：「RAID1 (Mirror)」  
「SATA 0.1…」：「X」  
「SATA 0.2…」：「X」
- 8 「Create RAID Volume」画面で「Create Volume」を選択します。
- 9 **F4** を押して、UEFI Setup ユーティリティを終了します。  
 p.47 「UEFI Setup ユーティリティの終了」

RAID の構築が完了したら、『Windows Server 2019 をお使いの方へ』をご覧ください。  
Windows Server をインストールしてください。

## RAID状態の確認

RAID の状態は「インテル ラピッド・ストレージ・テクノロジー」で確認できます。  
「インテル ラピッド・ストレージ・テクノロジー」画面は次の手順で表示します。

【スタート】－【Intel】－【インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー】

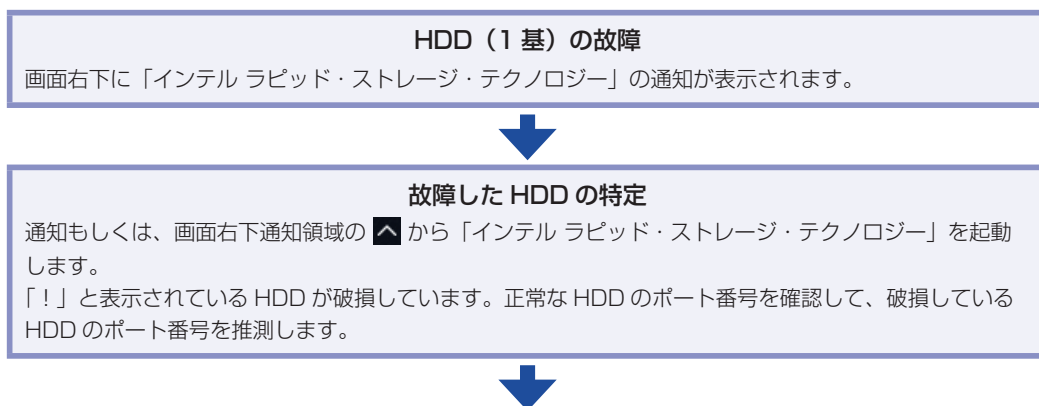
## RAIDの再構築

HDD が 1 基故障した場合の RAID の再構築方法を説明します。

※ 購入時に RAID ボードでの RAID 構成を選択された場合は、再構築方法が異なります。  
『RAID ボード取扱説明書』をご覧ください。

## RAID の再構築の流れ

次の流れに従って、RAID を再構築してください。




### 故障した HDD と同一容量の HDD を用意する

HDD は、当社にて取り扱いのものを用意してください。



### HDD の交換


故障した HDD と用意した HDD を交換します。

 p.35 「HDD の装着」



### RAID の再構築

RAID を再構築します。



 p.12 「RAID の再構築」

## RAID を再構築する

RAID の再構築は、UEFI Setup ユーティリティで行います。

RAID の再構築方法は次のとおりです。

※ 購入時に RAID ボードでの RAID 構成を選択された場合は、再構築方法が異なります。  
『RAID ボード取扱説明書』をご覧ください。

- 1** UEFI Setup ユーティリティを起動します。  
 p.43 「UEFI Setup ユーティリティの起動」
- 2** 「Advanced」メニュー画面 – 「Intel (R) Rapid Storage Technology」を選択します。
- 3** 「Intel (R) RST」画面が表示されたら、RAID 名を選択します。
- 4** 「RAID VOLUME INFO」画面が表示されたら、「Rebuild」を選択します。
- 5** 「Rebuild Volume」画面が表示されたら、交換した HDD を選択します。
- 6** **[F4]** を押して、UEFI Setup ユーティリティを終了します。  
 p.47 「UEFI Setup ユーティリティの終了」
- 7** Windows Server が起動したら、[スタート] – [Intel] – [インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー] をクリックします。
- 8** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。  
「インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー」の「ステータス」画面で再構築の進捗状況が表示されます。100% に達したら、再構築は完了です。



# 1

## 装置の増設・交換

メモリーや拡張ボード、HDD の増設・交換方法について説明します。

増設・交換できる装置 .....	16
作業時の注意 .....	17
装置装着時の準備作業 .....	18
メモリーの装着 .....	21
拡張ボードの装着 .....	27
ドライブ装置とコネクタの接続 .....	33
HDD の装着 .....	35

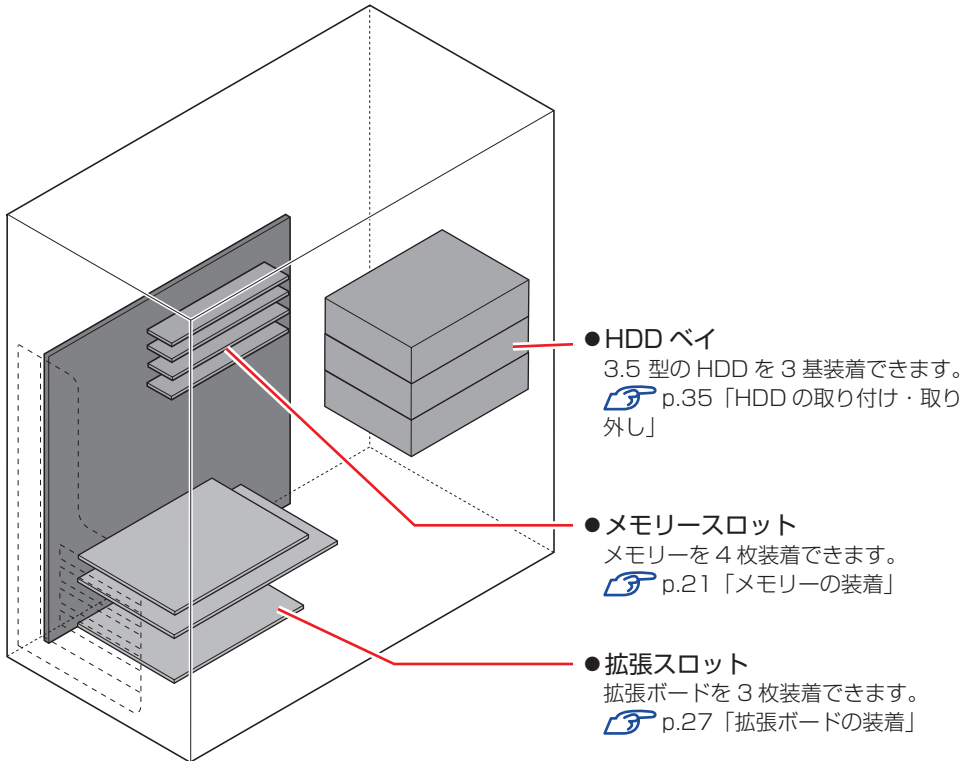
# 増設・交換できる装置

本機では、次の装置を増設・交換することができます。

購入時の選択によっては、すでにいくつかの装置が装着されているため、増設できる装置の数は異なります。

## ！ 制限

- マニュアルで方法を記載していない装置の増設・交換は行わないでください。故障の原因となります。
- 接続できる HDD (SATA 仕様) は 3 基までです。





# 作業時の注意

内部装置の取り付け・取り外しをする場合は、必ず次の点を確認してから作業を始めてください。



- 装置の増設・交換などで本機のカバーを開けるときは、電源プラグをコンセントから抜き、10分以上放置してください。  
電源プラグを接続したまま作業すると、感電や火傷の原因となります。
- 本機の分解・改造や、マニュアルで指示されている以外の増設・交換はしないでください。  
けが・感電・火災の原因となります。




- 装置の増設・交換は、本機の内部が高温になっているときには行わないでください。  
火傷のおそれがあります。  
本機の電源を切って10分以上待ち、内部が十分冷めてから作業を行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や傾いた所など）で、作業をしないでください。  
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- メモリーの切り欠きとメモリスロット内の仕切りは、確実に合わせてください。  
メモリーの向きを間違えると、正しく装着できません。間違った状態で使用すると、発煙や発火のおそれがあります。



- 本機から周辺機器を必ず取り外してください。
- 取り付けを行う際は、取り付ける装置のマニュアルを必ず参照してください。
- 本機内部のケースや基板には突起があります。作業の際には、けがをしないよう注意してください。
- 作業を行う前に金属製のものに触れて静電気を逃がしてください。装置や本機に静電気が流れると、基板上の部品が破損するおそれがあります。
- 本機内部にネジや金属などの異物を落とさないでください。
- メモリーや拡張ボードを持つときは、端子部や素子に触れないでください。破損や接触不良による誤動作の原因になります。
- 装置は落とさないように注意してください。強い衝撃が、破損の原因になります。
- メモリーや拡張ボードの着脱は、頻繁に行わないでください。必要以上に着脱を繰り返すと、端子部などに負担がかかり、故障の原因になります。
- 固定具が確実に閉じていない場合、メモリーがしっかりと固定されていない可能性があります。再度、メモリーの向きを確認し、固定具が確実に閉じるまで、しっかりとメモリーを押し込んでください。

# 装置装着時の準備作業

装置を装着する際の準備作業について説明します。  
準備作業の前に  p.17 「作業時の注意」 を必ずお読みください。

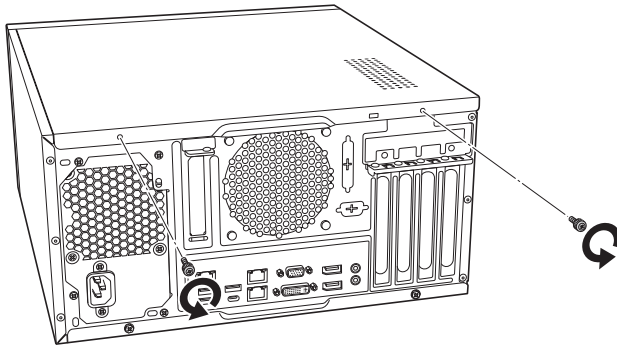
## 本体カバーの取り外し・取り付け

本機の内部に装置を装着する場合は、本体カバーを外してください。

### 取り外し

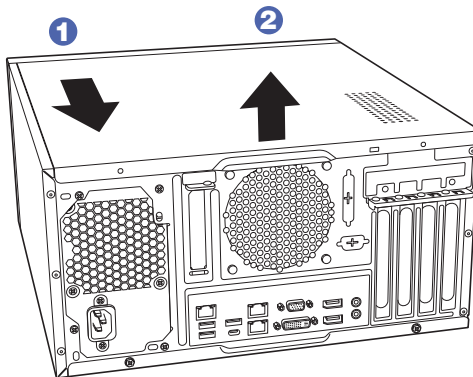
本体カバーの取り外し方法は次のとおりです。

- 1** 本体背面のネジ（2本）を外します。



- 2** 本体カバーを取り外します。

- 1** 本体カバーを本体背面側にスライドさせます。
- 2** 本体カバーを外します。

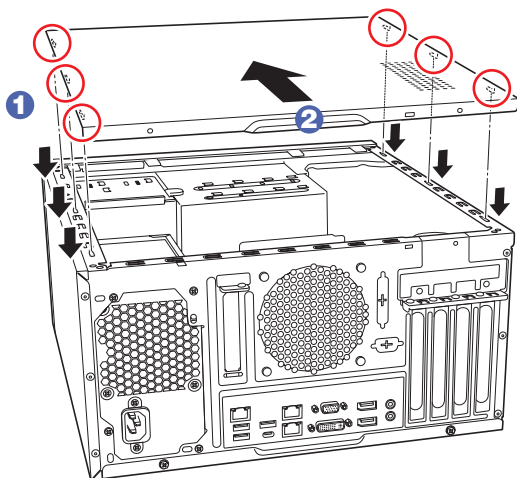


## 取り付け

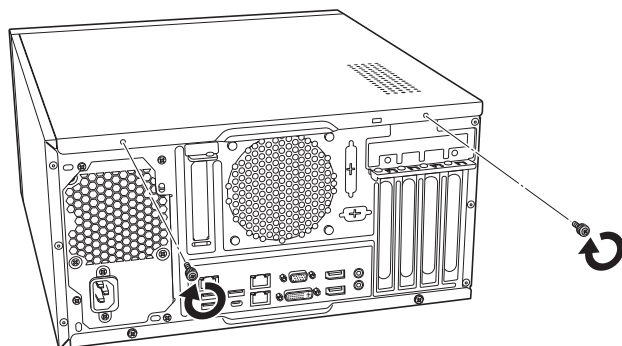
本体カバーの取り付け方法は次のとおりです。

### 1 本体カバーを取り付けます。

- 1 本体の穴（6個）とカバーの突起（6個）の位置を合わせて、本体カバーをはめ込みます。
- 2 本体カバーを本体前面側にスライドさせます。



### 2 ネジ（2本）で本体カバーを固定します。



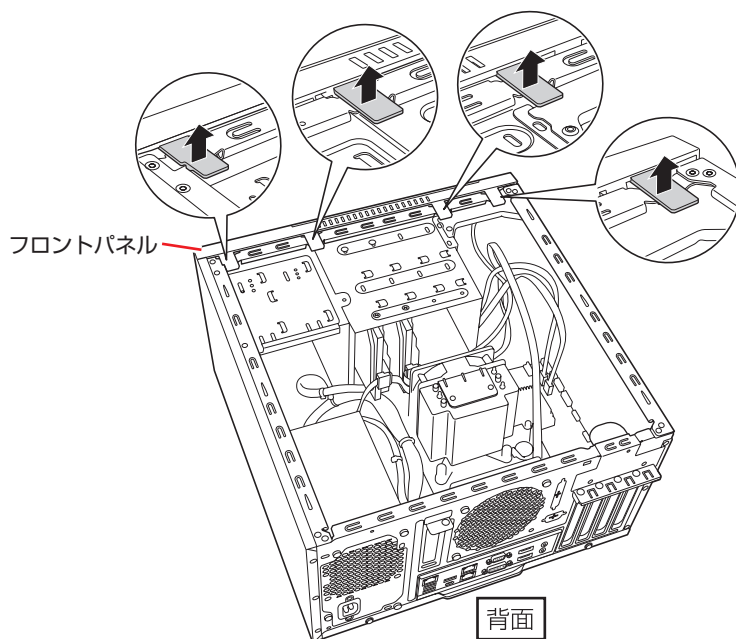
## フロントパネルの取り外し・取り付け

本機の内部に装着する装置によっては、フロントパネルを取り外す必要があります。

### 取り外し

フロントパネルの取り外し方法は次のとおりです。

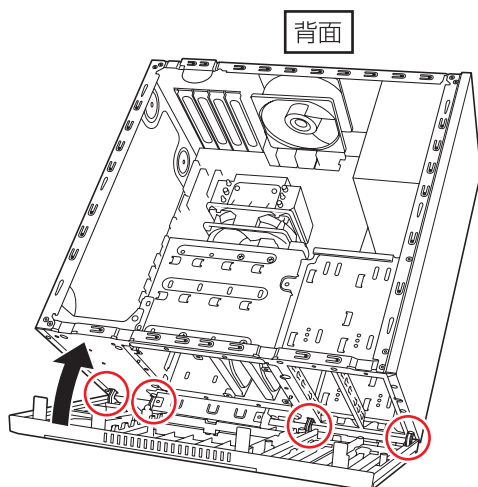
- 1** フック（4カ所）を外して、フロントパネルを取り外します。



### 取り付け

フロントパネルの取り付け方法は次のとおりです。

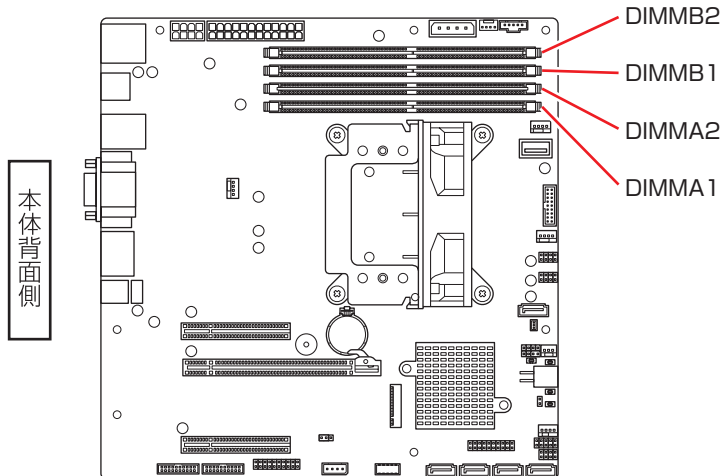
- 1** フロントパネルのフック（4カ所）を本体前面の穴（4カ所）に差し込みます。
- 2** フロントパネルをカチッと音がするまで押し込みます。



# メモリーの装着

本機で使用可能なメモリーの仕様と、メモリーの取り付け・取り外し方法について説明します。本機にはメモリスロットが4本あり、メモリーを最大 32GB まで増設・交換することができます。

マザーボード上のメモリスロットの位置は、次のとおりです。



## メモリーの仕様

本機で使用可能なメモリーは、次のとおりです。

- PC4-2666 DIMM (DDR4-2666 使用) \*1
- メモリー容量 8GB
- ECC または Non ECC \*2
- 288 ピン

\*1 搭載されている CPU により、メモリーの動作周波数は異なります。  
(2400MHz または 2666MHz)

\*2 ECCとNon ECCのメモリーを混在させて使用しないでください。

## 最新メモリー情報

今後、使用可能なメモリーが追加される場合があります。また、それにともない、最大搭載可能容量が変更になることがあります。メモリーの最新情報は、当社ホームページでご確認ください。

<https://shop.epson.jp/>

<http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?36489>

## メモリー装着の順番

メモリーを装着する際は、次の順番で装着してください。この順番で装着しないと、本機が起動しないことがあります。

1 枚目	DIMMA2
2 枚目	DIMMB2
3 枚目	DIMMA1
4 枚目	DIMMB1

## デュアルチャネル

本機はデュアルチャネルに対応しています。同一容量のメモリーを 2 枚 1 組で装着すると、データ転送速度のパフォーマンスが最大になります。

メモリー装着の組み合わせとメモリーの動作は、次のとおりです。

メモリー装着の組み合わせ	メモリーの動作
同一容量のメモリー 2 枚	デュアルチャネル*で動作。転送速度最大。
メモリー 1 枚	通常の転送速度で動作（シングルチャネル）。

\*デュアルチャネルで動作させる場合は、次の組み合わせで装着してください。

1 組目：DIMMA2 スロット+ DIMMB2 スロット

2 組目：DIMMA1 スロット+ DIMMB1 スロット

1 組目は必ず DIMMA2 スロット+ DIMMB2 スロットに装着してください。


## メモリーの取り付け・取り外し

メモリーの取り付け・取り外し方法は、次のとおりです。

作業を始める前に  p.17 「作業時の注意」を必ずお読みください。

### 取り付け

メモリーの取り付け方法は次のとおりです。

- 1** 本機および接続されている周辺機器の電源を切ります。
- 2** 本機に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外し、10 分以上放置します。
- 3** 通風孔のある面を上にして、本機を横置きします。
- 4** 本体カバーを取り外します。  
 p.18 「取り外し」

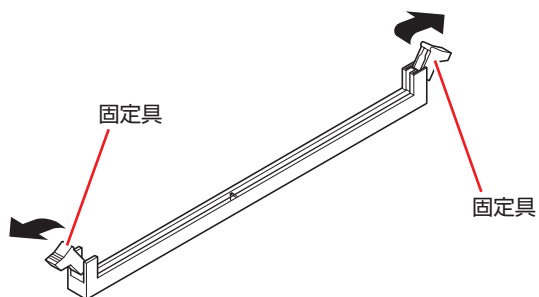
**5** フロントパネルを取り外します。

 p.20 「取り外し」

**6** HDD ベイを取り外します。

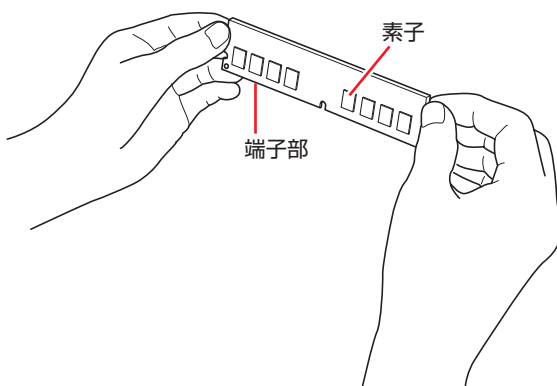
 p.36 「取り付け」 - **6**

**7** メモリースロット両端の固定具を開きます。



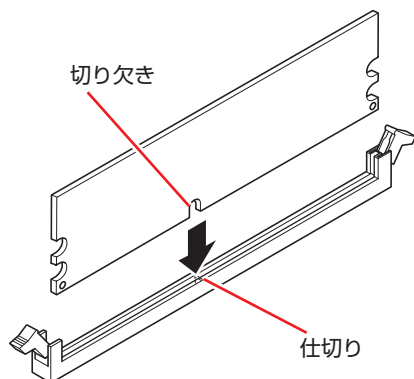
**8** メモリーを静電防止袋から取り出します。

メモリーの端子部や素子に触れないように注意します。



## 9 メモリスロットにメモリーを差し込みます。

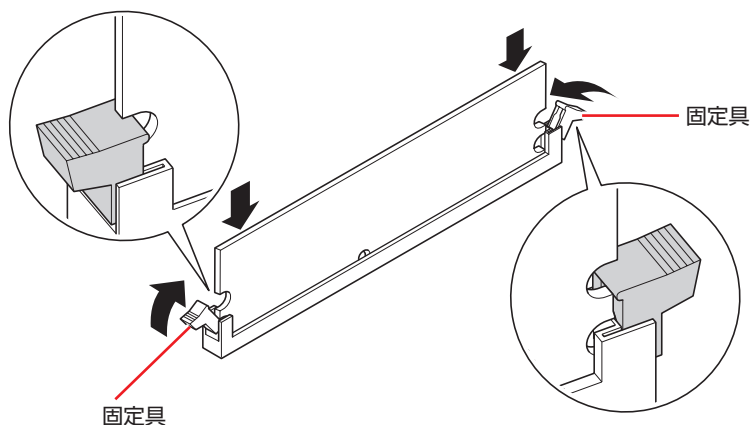
- 1 メモリーの切り欠きをメモリスロット内の仕切りに合わせます。



注意

メモリーの切り欠きとメモリスロット内の仕切りは、確実に合わせてください。  
メモリーの向きを間違えると、正しく装着できません。間違った状態で使用すると、発煙や発火のおそれがあります。

- 2 メモリーを押し込むと、カチッと音がして固定具が閉じ、メモリーが固定されます。固定具が確実に閉じて、メモリーが固定されたことを必ず確認してください。






制限

固定具が確実に閉じていない場合、メモリーがしっかりと固定されていない可能性があります。  
再度、メモリーの向きを確認し、固定具が確実に閉じるまで、しっかりとメモリーを押し込んでください。


## 10 HDD ベイを元に戻します。

 p.37 「取り付け」 - 8

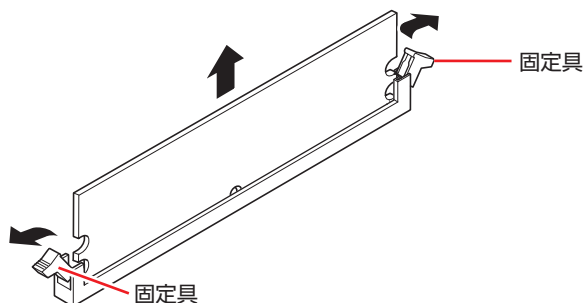


- 11** フロントパネルを取り付けます。  
 p.20 「取り付け」
- 12** 本体カバーを取り付けます。  
 p.19 「取り付け」
- 13** 本機を縦置きにします。
- 14** **2** で取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。
- 15** 本機の電源を入れて、メモリーの容量を確認します。  
 p.26 「メモリー取り付け・取り外し後の作業」

## 取り外し

メモリーの取り外しは、 p.23 「取り付け」の **7** ~ **9** を次の手順に読み替えて行ってください。

- 1** メモリーの両端を固定している固定具を開きます。



- 2** メモリーが外れたら静かに取り外します。  
静電気防止袋に入れて保管してください。
- 3** メモリーを取り付けない場合は、固定具を閉じておきます。

## メモリー取り付け・取り外し後の作業

メモリーの取り付け・取り外しをしたら、メモリーが正しく取り付けられているかどうか、必ずメモリー容量を確認します。

メモリー容量の確認方法は次のとおりです。

- 1** 本機の電源を入れ、すぐに **Delete** を「トン、トン、トン…」と連続的に押して「UEFI Setup ユーティリティ」を起動します。
- 2** 「Main」メニュー画面 - 「Total Memory」に表示されているメモリー容量を確認します。
- 3** 「Save Changes and Reset」を実行してUEFI Setup ユーティリティを終了します。

 p.47 「Save Changes and Reset（変更した内容を保存し終了する）」

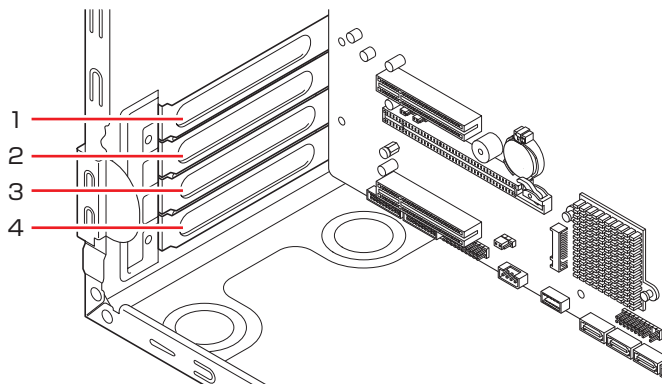
**2** でメモリー容量が正しく表示されない場合は、メモリーが正しく取り付けられていないことが考えられます。すぐに電源を切り、メモリーを正しく取り付けなおしてください。

# 拡張ボードの装着

拡張スロットの仕様と、拡張ボードの取り付け・取り外し方法について説明します。

## 拡張スロットの仕様

本機には拡張スロットが4つあります。各スロットの仕様は次のとおりです。



スロット番号	コネクタ仕様	装着可能な拡張ボードサイズ
1	PCI Express x4	ボード長 312mm (フルサイズ) まで
2	PCI Express x16	
3	—	
4	PCI Express x4	




**制限**

ボードの形状によっては、コネクタ類と干渉して装着できない場合があります。

## 拡張ボードの取り付け・取り外し




拡張スロットには機器の性能を維持するため鋭いエッジがあります。手を傷つけないように作業してください。

作業を始める前に  p.17 「作業時の注意」と拡張ボードのマニュアルを必ずお読みください。

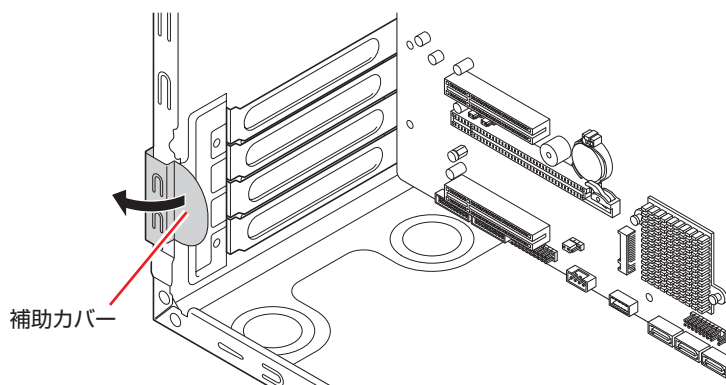
### 取り付け

拡張ボードの取り付け方法は次のとおりです。

- 1** 本機および接続されている周辺機器の電源を切ります。
- 2** 本機に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外し、10分以上放置します。
- 3** 通風孔のある面を上にして、本機を横置きします。
- 4** 本体カバーを取り外します。  
 p.18 「取り外し」

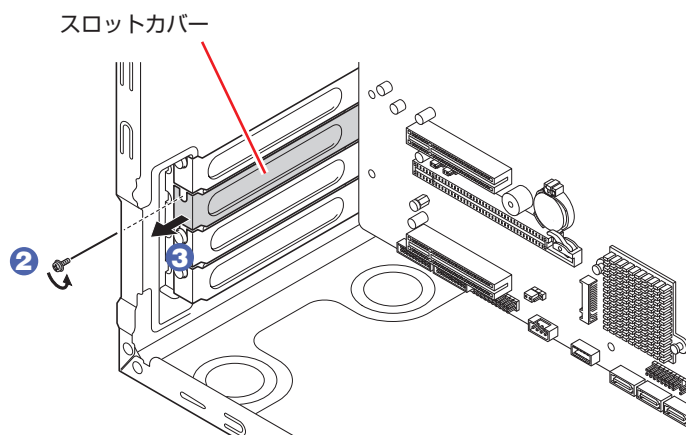
## 5 拡張ボードを装着するスロットの-slotカバーを外します。

- 1 補助カバーを開きます。



- 2 スロットカバーを固定しているネジを外します。

- 3 スロットカバーを手前に引き抜きます。



外したスロットカバーは、大切に保管してください。拡張ボードを外したあと、別の拡張ボードを装着しない場合は、本体内部にホコリなどが入らないように、再びスロットカバーを装着します。

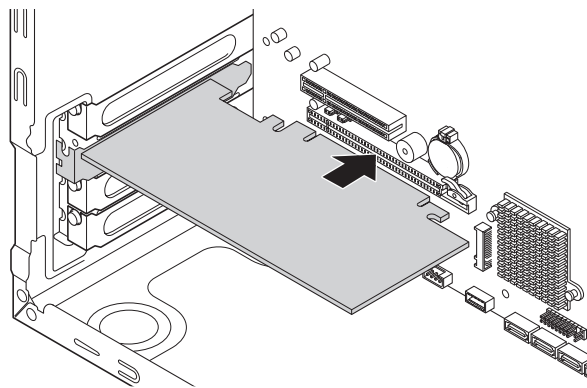


## 6 拡張ボードを取り付けます。

### 通常のボードの場合

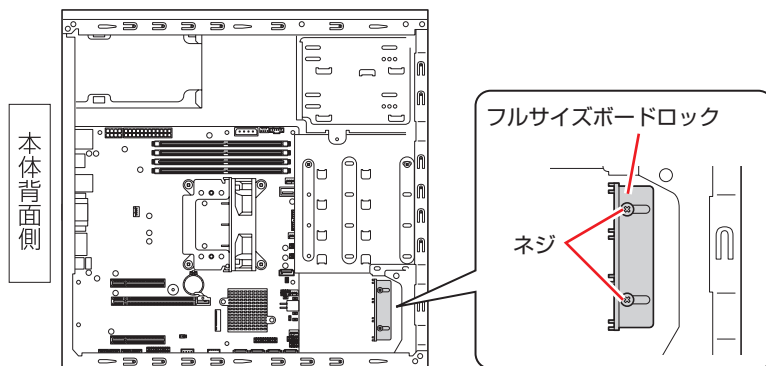
拡張ボードを差し込みます。

拡張ボードの端子部を、コネクタに軽く触れる程度に差し込みます。コネクタに無理な力がかかっていないことを確認して、ゆっくり押し込みます。

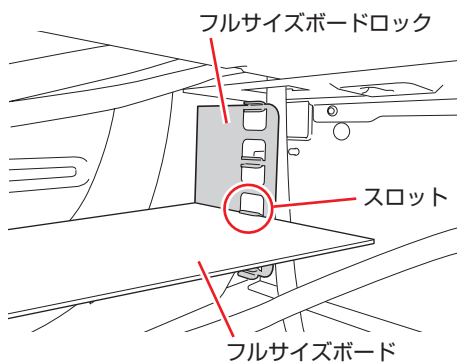


### フルサイズ (312mm) のボードの場合

- 1 フルサイズボードロックのネジ (2本) をゆるめます。



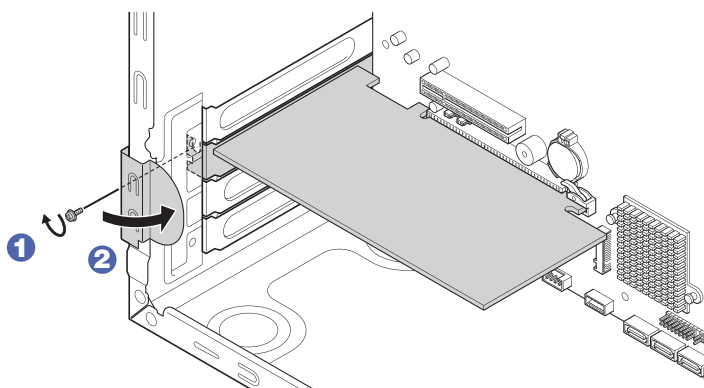
- 2 フルサイズボードロックのスロットにボードを差し込み、<通常のボードの場合>と同様に、端子部をコネクタに差し込みます。



- 3 フルサイズボードロックのネジ (2本) を締めて固定します。

## 7 拡張ボードを固定します。

- 1 拡張ボードをネジで固定します。
- 2 補助カバーを閉じます。



拡張ボードによっては、コンピューター内部のコネクターとのケーブル接続が必要な場合があります。拡張ボードのマニュアルで確認してください。

## 8 本体カバーを取り付けます。

 p.19 「取り付け」

## 9 本機を縦置きにします。

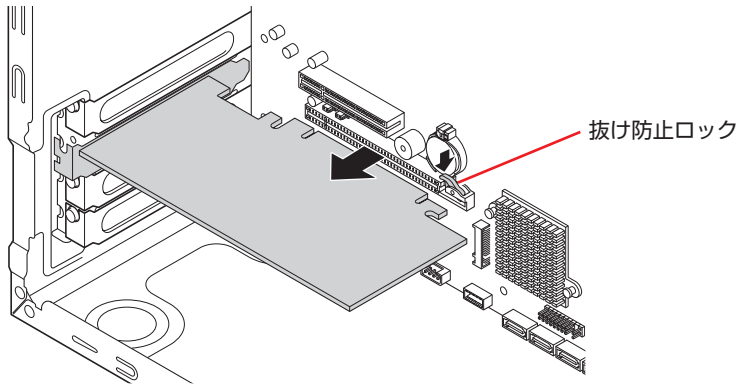
## 10 2 で取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。

## 取り外し

拡張ボードの取り外しは、[p.29「取り付け」の 5 ～ 7](#) を次の手順に読み替えて行ってください。

**1** 補助カバーを開き、拡張ボードを固定しているネジを外します。  
フルサイズのボードの場合は、フルサイズボードロックのネジ（2本）をゆるめます。

**2** 拡張ボードを引き抜きます。  
PCI Express x16 の場合は、抜け防止ロックを押しながら、拡張ボードを引き抜きます。



**3** 拡張ボードを取り外したスロットに別の拡張ボードを装着しないときは、スロットカバーを取り付けて、補助カバーを閉じます。

**1** でフルサイズボードロックのネジ（2本）をゆるめた場合は、ネジを締めておきます。

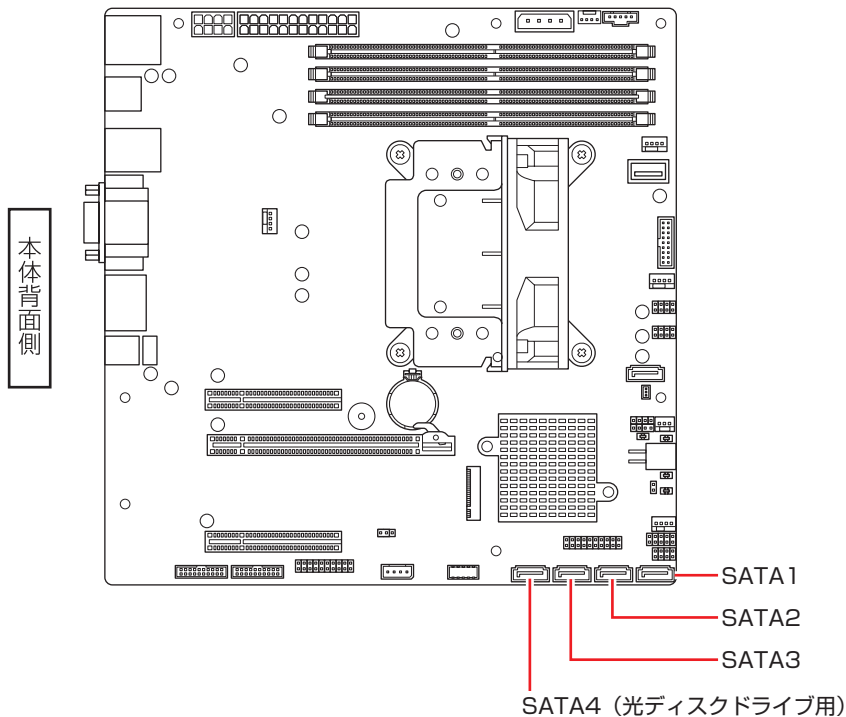


# ドライブ装置とコネクタの接続

ここでは、マザーボード上のコネクタとドライブ装置の接続について説明します。

## シリアルATAコネクタ

シリアル ATA コネクタには、HDD を接続できます。



接続は次のように行ってください。

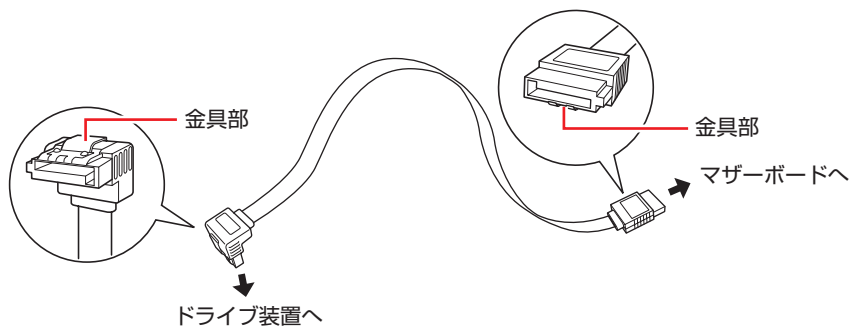
コネクタ	仕様	接続するドライブ装置
SATA1 (Port1)	シリアル ATA 600MB/s	HDD
SATA2 (Port2)		
SATA3 (Port3)		

※ 実際の転送速度は、本機と接続するドライブ装置の組み合わせによります。

※ 接続できる HDD (SATA 仕様) は 3 基までです。

## シリアル ATA ケーブル

HDD とマザーボード上のシリアル ATA コネクタは、「シリアル ATA ケーブル」で接続します。ケーブル両端の形状とコネクタの向きを合わせて接続してください。ケーブルを抜く際は、金具部を押しながら引き抜きます。



※ 増設用シリアル ATA ケーブルは添付されていません。

# HDD の装着

HDD の取り付け・取り外し方法について説明します。

## ！ 制限




- HDD へのアクセス制限を設定している場合は、解除してから HDD を取り付け・取り外ししてください。
- 接続できる HDD (SATA 仕様) は 3 基までです。

## HDD の取り付け・取り外し

作業を始める前に  p.17 「作業時の注意」を必ずお読みください。

### 取り付け

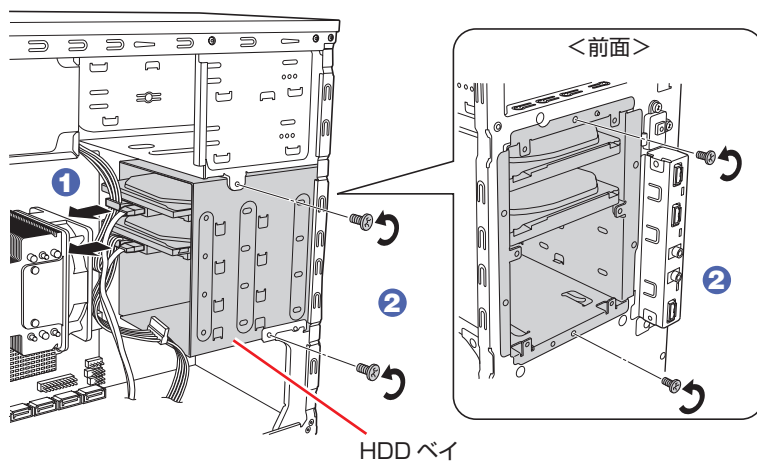
HDD の取り付け方法は次のとおりです。  
ここでは 3 基目の HDD を取り付ける方法を説明します。

- 1** 本機および接続されている周辺機器の電源を切ります。
- 2** 本機に接続されているケーブル類 (電源コードなど) をすべて外し、10 分以上放置します。
- 3** 本体カバーを取り外します。  
 p.18 「取り外し」
- 4** フロントパネルを取り外します。  
 p.20 「取り外し」
- 5** 作業の妨げになる拡張ボードがある場合は、一旦取り外します。  
 p.32 「取り外し」

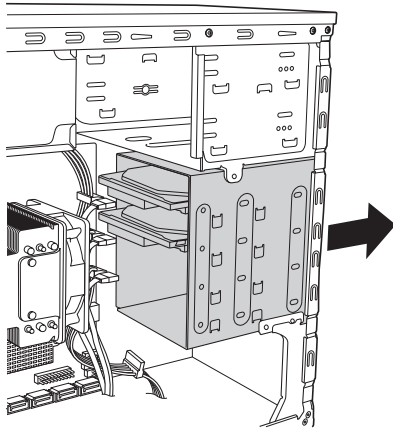


## 6 HDD ベイを本体から取り外します。

- 1 HDD に接続されているケーブル類を外します。  
シリアル ATA ケーブルは、金具部を押しながら引き抜いてください。
- 2 本体と HDD ベイを固定しているネジ（4 本）を外します。

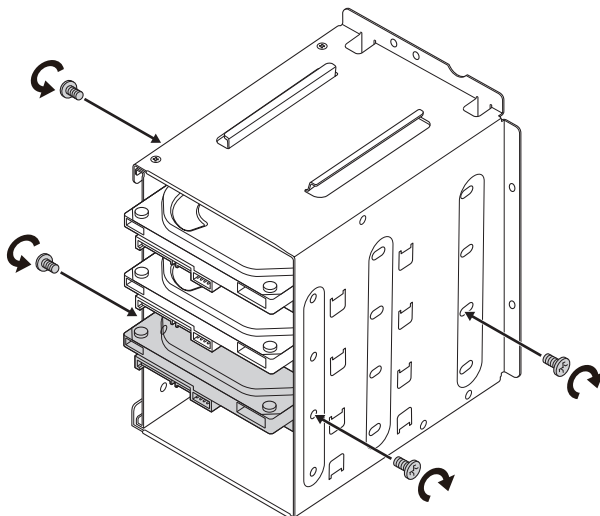


- 3 HDD ベイを本体前面側から引き抜きます。  
必ず両手で持って取り外してください。



## 7 HDD ベイに HDD を取り付けます。

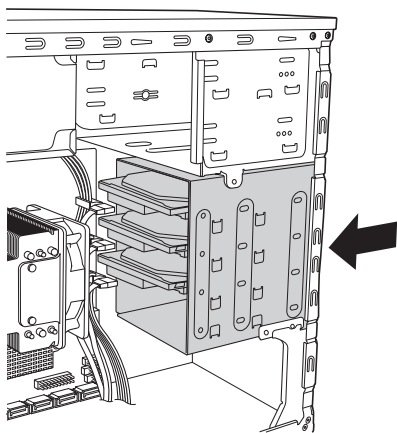
- 1 取り付ける HDD を、装着されている HDD と同じ向きにして HDD ベイに差し込みます。
- 2 HDD のネジ穴を HDD ベイのネジ穴に合わせて、ネジ（4本）で固定します。



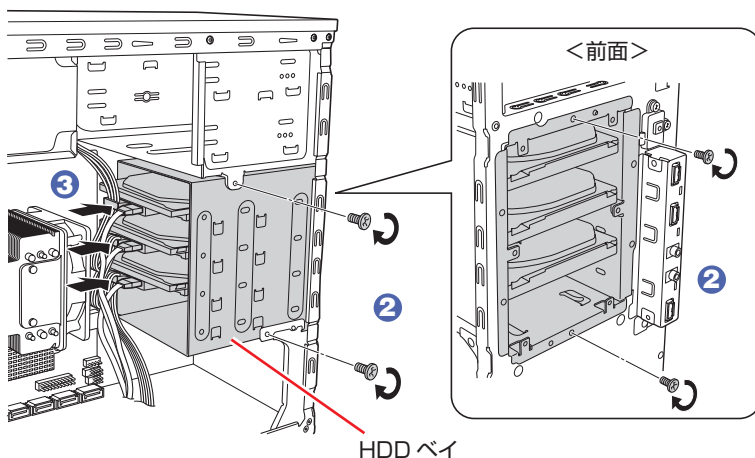
## 8 本体に HDD ベイを取り付けます。

HDD ベイは、必ず両手で持って取り付けてください。

- 1 本体前面側から HDD ベイを押し込みます。




- 2** HDD ベイのネジ穴に本体のネジ穴を合わせて、ネジ（4本）で固定します。



- 3** 周辺機器用電源ケーブルをHDDの電源コネクタに接続し、シリアルATAケーブルをHDDのコネクタとマザーボード上のシリアルATAコネクタに接続します。

マザーボード上のコネクタ位置は、 p.33「ドライブ装置とコネクタの接続」で確認してください。

- 9** **5** で拡張ボードを取り外した場合は、元どおりに取り付けます。

 p.30「取り付け」 — **6**、**7**

- 10** フロントパネルを取り付けます。

 p.20「取り付け」

- 11** 本体カバーを取り付けます。

 p.19「取り付け」

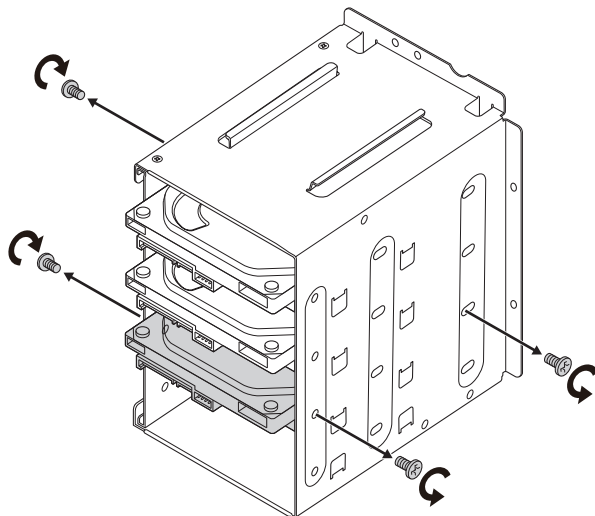
- 12** **2** で取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。

## 取り外し

HDD の取り外しは、[p.37 「取り付け」](#) の **7** を次の手順に読み替えて行ってください。

### **1** HDD ベイから HDD を取り外します。

HDD ベイと HDD を固定しているネジ（4 本）を外し、HDD ベイから HDD を取り外します。



ほかの HDD を取り付けない場合は、シリアル ATA ケーブルをマザーボードから取り外し、大切に保管してください。





# 2

## UEFI の設定

コンピュータの基本状態を管理しているプログラム「UEFI」の設定を変更する方法について記載しています。

UEFI の設定を始める前に.....	42
UEFI Setup ユーティリティの操作.....	43

# UEFI の設定を始める前に



## 制限

当社製以外の UEFI を使用すると、OS が正常に動作しなくなる場合があります。当社製以外の UEFI へのアップデートは絶対に行わないでください。

UEFI は、コンピューターの基本状態を管理しているプログラムです。このプログラムは、マザーボード上に ROM として搭載されています。

UEFI の設定は「UEFI Setup ユーティリティ」で変更できますが、購入時のシステム構成に合わせて最適に設定されているため、通常は変更する必要はありません。UEFI の設定を変更するのは、次のような場合です。

- 本書やお使いの装置のマニュアルで指示があった場合
- パスワードを設定する場合
- マザーボード上の機能を有効 / 無効にする場合
- RAID を構築 / 再構築する場合

UEFI の設定値を間違えると、システムが正常に動作しなくなる場合があります。設定値をよく確認してから変更を行ってください。

UEFI Setup ユーティリティで変更した内容は CMOS RAM と呼ばれる特別なメモリー領域に保存されます。このメモリーはリチウム電池によってバックアップされているため、本機の電源を切ったり、再起動しても消去されることはありません。



## 参考

### リチウム電池の寿命

UEFI Setup ユーティリティの内容は、リチウム電池で保持しています。リチウム電池は消耗品です。本機の使用状況によって異なりますが、本機のリチウム電池の寿命は約 3 年です。日付や時間が異常になったり、設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。リチウム電池を交換してください。



p.51 「リチウム電池の脱着 (CMOS RAM の初期化)」

# UEFI Setup ユーティリティの操作

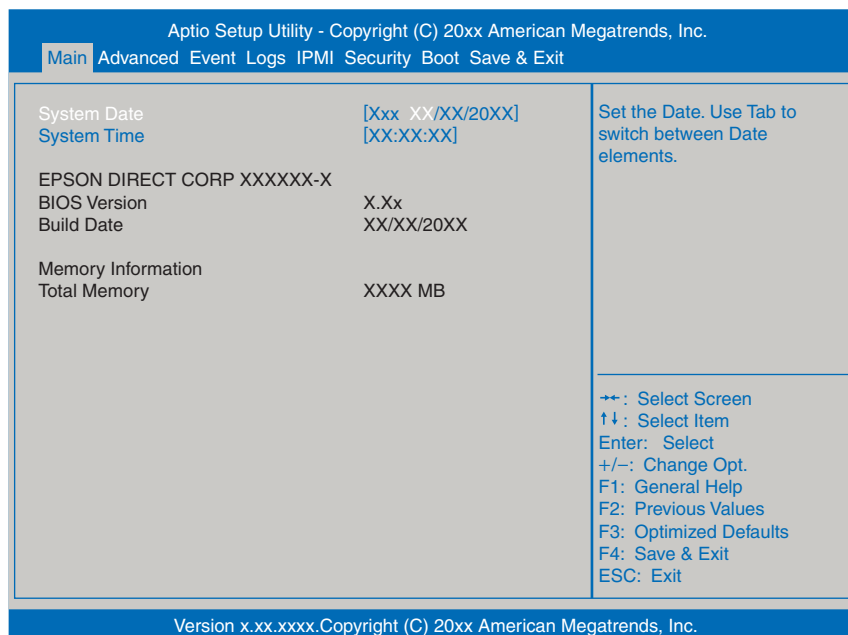
ここでは、「UEFI Setup ユーティリティ」の基本操作（起動、操作、終了）について説明します。

## UEFI Setup ユーティリティの起動

本機を再起動する前に、キーボードの **Delete** の位置を確認してください。**2** では、すばやく **Delete** を押す必要があります。

- 1** 本機を再起動します。
- 2** 再起動後、すぐに **Delete** を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。  
OS が起動してしまった場合は、再起動して **2** をもう一度実行してください。

「UEFI Setup ユーティリティ」が起動して「Main」メニュー画面が表示されます。



< UEFI Setup ユーティリティ画面（イメージ） >

# UEFI Setupユーティリティーの操作

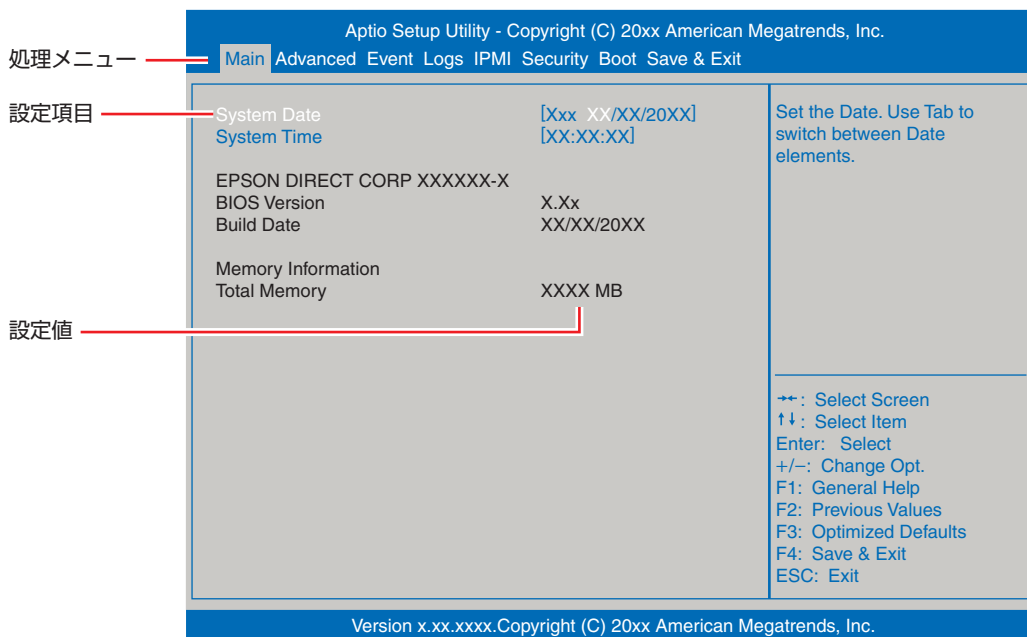
「UEFI Setup ユーティリティー」の操作は、キーボードで行います。

ここで説明している画面は、イメージです。実際の設定項目とは異なります。

## 画面の構成

UEFI Setup ユーティリティーを起動すると次の画面が表示されます。

この画面で設定値を変更することができます。



<メニュー画面>

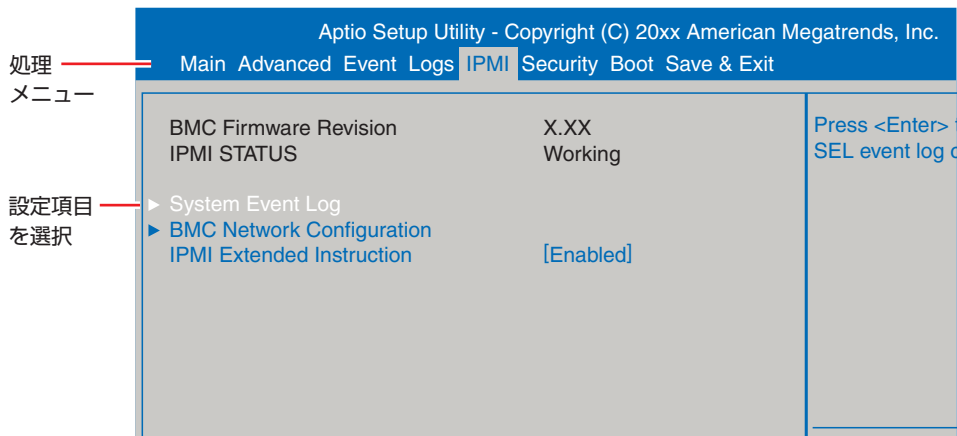
## 操作方法

UEFI Setup ユーティリティの操作方法是次のとおりです。

- 1 変更したい設定項目のあるメニューを、処理メニューから選択し、設定項目を選択します。

→ ← でメニュー間を移動します。

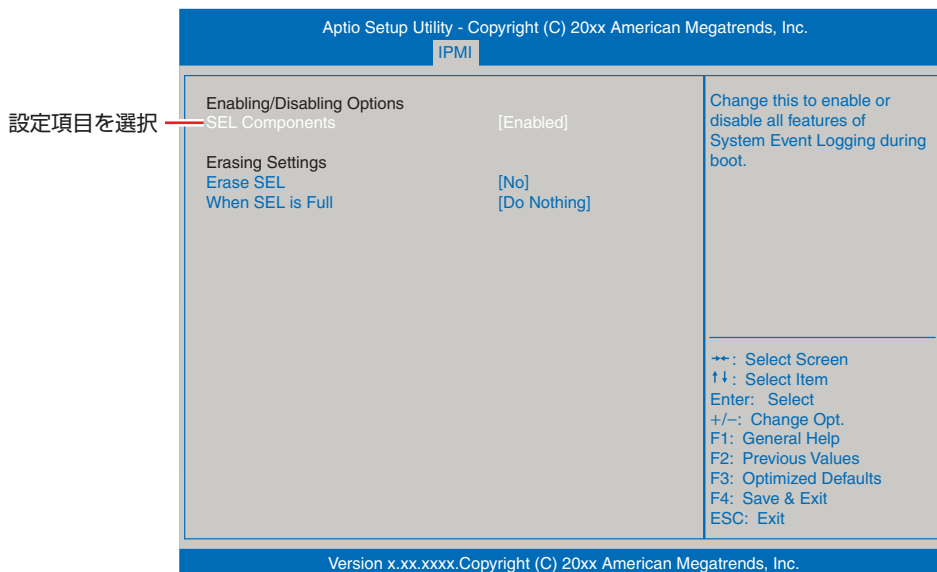
↑ ↓ で設定値を変更したい項目まで移動します。



<メニュー画面>

### ▶ のある項目の場合

▶ のある項目の場合、← を押すとサブメニュー画面が表示されます。↑ ↓ で設定値を変更したい項目まで移動します。



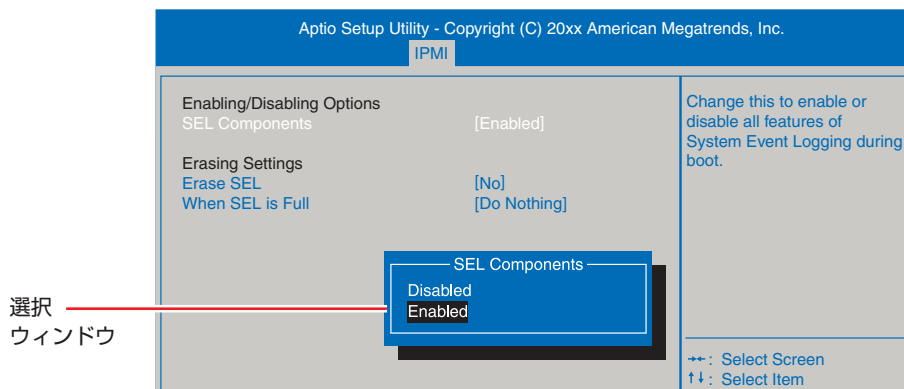
<サブメニュー画面>

サブメニュー画面から戻るには Esc を押します。



## 2 設定値を変更します。

← を押して選択ウィンドウを表示し、↑ ↓ で値を選択し ↵ で決定します。



## キー操作

UEFI の画面を操作するときは、次のキーを使用します。

キー	操作できる内容
Esc	<ul style="list-style-type: none"><li>変更した内容を破棄し、終了します。</li><li>サブメニュー画面からメニュー画面に戻ります。</li></ul>
↑, ↓	設定を変更する項目を選択します。
←, →	処理メニューを選択します。
-, +	項目の値を変更します。
↵	<ul style="list-style-type: none"><li>メニュー画面中の ▶ のある項目で押すとサブメニュー画面を表示します。</li><li>選択項目の選択ウィンドウを表示します。</li><li>設定値を選択します。</li></ul>
F1	ヘルプを表示します。
F2	変更した設定値を前回保存した設定値に戻します。
F3	全設定項目の値を、UEFI の初期値に戻します。
F4	変更した設定値を保存して終了します。

## UEFI Setupユーティリティの終了

「UEFI Setup ユーティリティ」を終了するには、次の2つの方法があります。

### Save Changes and Reset (変更した内容を保存し終了する)

変更した設定値を保存して、UEFI Setup ユーティリティを終了します。

- 1 **F4** を押す、または「Save & Exit」メニュー画面 - 「Save Changes and Reset」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Save & reset	
Save configuration and reset?	
Yes	No

- 2 **[Yes]** を選択し、**[↵]** を押します。  
「UEFI Setup ユーティリティ」が終了し、OS が起動します。

### Discard Changes and Exit (変更した内容を破棄し終了する)

変更した設定値を保存せずに、UEFI Setup ユーティリティを終了します。

- 1 **[Esc]** を押す、または「Save & Exit」メニュー画面 - 「Discard Changes and Exit」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Exit Without Saving	
Quit without saving?	
Yes	No

- 2 **[Yes]** を選択し、**[↵]** を押します。  
「UEFI Setup ユーティリティ」が終了し、OS が起動します。

## ディスプレイの出力切替(アナログ/デジタル)

購入時、本機はアナログ出力 (VGA) に設定されています。  
デジタル出力 (DVI、ディスプレイポート) する場合は、次の項目を変更してください。

「Advanced」メニュー画面 - 「Chipset Configuration」 - 「System Agent (SA) Configuration」 - 「Graphics Configuration」 - 「Primary Display」:

「Auto」…アナログ出力 (VGA)

「IGFX」…デジタル出力 (DVI、ディスプレイポート)





# 付録

本機をご使用になる際に役に立つ情報や、本機の仕様などについて説明します。

お手入れ .....	50
リチウム電池の脱着（CMOS RAMの初期化） .....	51
コンピューターを廃棄するときは .....	55
機能仕様一覧 .....	56

# お手入れ

本機は精密な機械です。取り扱いに注意して、定期的にお手入れを行ってください。



お手入れは、本機の電源を切った状態で行ってください。

## 本機のお手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

### 外装

コンピューター本体の外装の汚れは、中性洗剤を染み込ませた柔らかい布で、軽く拭き取ってください。キーボードやマウスの外装の汚れも同様です。



ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。  
変色や変形の可能性があります。

### 通風孔

コンピューターの通風孔にホコリなどがたまると、空気の通りが悪くなります。通風孔のホコリは、定期的に乾いた柔らかい布で取り除いてください。

### 内部

本体内部にホコリなどがたまっている場合は、エアースプレーで吹き飛ばしてください。



- 本機のカバーを開けるときは、電源プラグをコンセントから抜き、10分以上放置してください。  
電源プラグを接続したまま作業すると、感電や火傷の原因となります。
- 電源ユニットは絶対に分解しないでください。  
けがや感電・火災の原因となります。



- 作業時は、誤って本体内部の部品を傷つけないよう注意してください。
- 水分を含ませたティッシュや化学ぞうきんなどは、使わないでください。  
水分や化学物質により故障の原因となります。

# リチウム電池の脱着 (CMOS RAMの初期化)

「UEFI Setup ユーティリティ」で設定した情報は、マザーボード上の CMOS RAM に保存され、リチウム電池により保持されています。

リチウム電池は消耗品です。コンピューターの使用状況により異なりますが、寿命は約 3 年です。日時や時間がおかしくなったり、UEFI で設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。このような場合は、リチウム電池を交換してください。

UEFI のパスワードを忘れていたり、項目設定を誤ったりして本機が起動しなくなった場合には、リチウム電池を装着しなおすことで、CMOS RAM が初期化され、問題が解決できる場合があります。お試しください。

本機で使用できるリチウム電池は、次のとおりです。

## ●BR2032



- 小さなお子様の手の届く場所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。飲み込むと化学物質による被害の原因となります。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。
- 作業するときは、コンセントから電源プラグを抜き、10 分以上放置してください。電源プラグを抜かないで作業すると、感電・火傷の原因となります。
- マニュアルで指示されている以外の分解や改造はしないでください。けがや、感電・火災の原因となります。
- 指定のタイプと異なる種類のリチウム電池を取り付けしないでください。爆発の危険があります。




- リチウム電池の取り外しは、本機の内部が高温になっている際には行わないでください。火傷の危険があります。作業は電源を切って 10 分以上待ち、内部が十分冷めてから行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や傾いた所など）で、作業をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

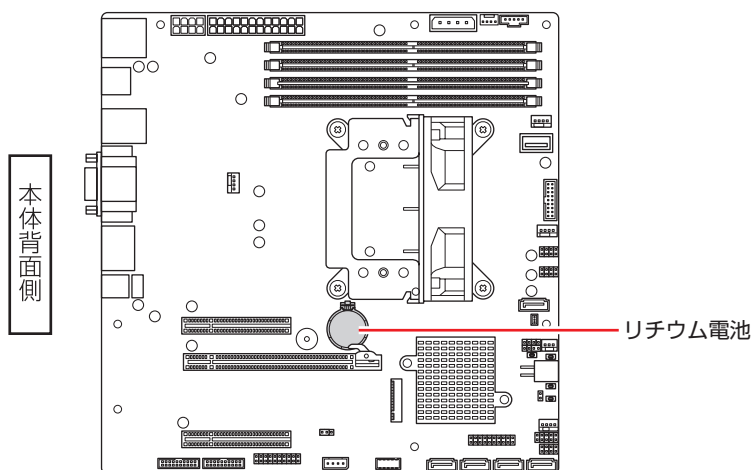



- リチウム電池を取り外すと、現在の UEFI の設定情報は初期値に戻ります。リチウム電池を取り外す前に、UEFI の設定値を記録しておくことをおすすめします。ユーザーの設定値は、「Save as User Defaults」で保存しておくこともできます。
- UEFI でパスワードを設定し、HDD のアクセスを制限していた場合、リチウム電池を取り外しても、HDD へのアクセス制限を解除することはできません。HDD へのアクセス制限を設定した HDD は、パスワードを忘れると使用できなくなります。

リチウム電池の脱着方法は、次のとおりです。

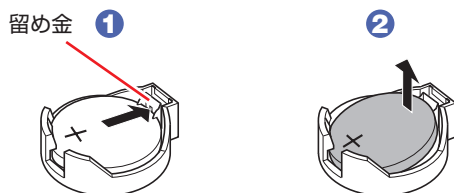
- 1** 本機および接続している周辺機器の電源を切ります。
- 2** 本機に接続しているケーブル類（電源コードなど）をすべて外し、10分以上放置します。
- 3** 通風孔のある面を上にして、本機を横置きします。
- 4** 本体カバーを取り外します。  
 p.18「取り外し」
- 5** リチウム電池の位置を確認します。

リチウム電池は、マザーボード上の次の位置にあります。



- 6** 作業の妨げになる拡張ボードがある場合は、一旦取り外します。  
 p.32「取り外し」
- 7** リチウム電池を取り外します。

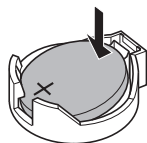
- 1** 電池ホルダーの留め金を押します。
- 2** リチウム電池が浮き上がったら、電池を抜きます。




- 8** 約1分間放置します。

## 9 リチウム電池を取り付けます。

交換する場合は、新しいリチウム電池を取り付けてください。  
刻印面 (+ 側) が表側になるようにして取り付けます。取り付けると「カチッ」と音が鳴ります。



## 10 6 で拡張ボードを取り外した場合は、元どおりに取り付けます。

 p.30 「取り付け」 – 6、7

## 11 本体カバーを取り付けます。

 p.19 「取り付け」

## 12 本機を縦置きにします。

## 13 2 で外したケーブル類 (電源コードなど) を接続します。

## 14 本機の電源を入れます。

## 15 すぐに **Delete** を「トン、トン、トン…」と連続的に押して UEFI Setup ユーティリティを起動します。

## 16 **F3** を押して UEFI を初期値に戻します。

## 17 「Save Changes and Reset」を実行して UEFI Setup ユーティリティを終了します。

 p.47 「Save Changes and Reset (変更した内容を保存し終了する)」

## 18 再起動後、すぐに **Delete** を「トン、トン、トン…」と連続的に押して UEFI Setup ユーティリティを起動します。

## 19 日付、時刻やそのほか変更の必要のある項目を再設定します。

ユーザーの設定値を保存しておいた場合は、「Restore User Defaults」で戻すことができます。

## 20 「Save Changes and Reset」を実行して UEFI Setup ユーティリティを終了します。

 p.47 「Save Changes and Reset (変更した内容を保存し終了する)」

## 使用済みリチウムコイン電池の取り扱い

---

- リチウムコイン電池は、ショートしないようにテープを貼って絶縁してください。  
絶縁しないと、破裂、発熱の原因となります。
- リチウムコイン電池は、燃やしたり埋めたり一般ゴミに混ぜて捨てたりしないでください。  
環境破壊の原因となります。自治体の指示に従って廃棄してください。

# コンピューターを廃棄するときは

本機を廃棄する際の注意事項について説明します。  
パソコン回収サービスについては、下記ホームページをご覧ください。

<https://shop.epson.jp/guide/recycle/>

## コンピューターの廃棄・譲渡時のHDD上のデータ消去に関するご注意

コンピューターユーザーが、廃棄・譲渡等を行う際に、HDD上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、HDDに記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用アプリあるいはサービス（有償）を利用するか、HDD上のデータを物理的・磁氣的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、HDD上のソフトウェア（OS、アプリなど）を削除することなくコンピューターを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する可能性があるため、十分な確認を行う必要があります。

# 機能仕様一覧


型番	SV1000	
CPU	プロセッサ	購入時の選択による
	ソケット	LGA1151 Socket
チップセット	インテル C246	
UEFI	AMI	
メインメモリー <sup>*1</sup>	規格	PC4-2666 DIMM (DDR4-2666 使用) ECC または Non ECC <sup>*2</sup>
	搭載可能容量 (最大)	32GB
	搭載容量	購入時の選択による
	スロット	DIMM スロット (288 ピン) × 4 (同一容量 2 枚 1 組で使用の場合、デュアルチャネルで動作)
ビデオメモリー (VRAM) (メインメモリーと共用)	メインメモリー 8GB 時最大 4021 MB メインメモリー 16GB 時最大 8117 MB メインメモリー 32GB 時最大 16309 MB	
HDD	シリアル ATA600MB/s 対応 3.5 型 HDD (容量、搭載数は購入時の選択による)	
光ディスクドライブ (オプション)	シリアル ATA 対応 5.25 型 DVD-ROM ドライブ	
サウンド機能	インテル ハイデフィニション・オーディオ対応 (Realtek 製 ALC888S-VD2)	
ネットワーク機能 (IPMI)	1000Base-T/100Base-TX/10Base-T (BMC AST2500 内蔵)	
ネットワーク機能 (LAN)	1000Base-T/100Base-TX/10Base-T (I219LM、I210AT)	
マウス/キーボード	購入時の選択による	
インタフェース	USB2.0 (前面)	1
	USB3.0 (前面)	2
	USB3.1 (背面)	Type-A × 3、Type-C × 1
	IPMI	RJ-45 × 1 (背面)
	LAN	RJ-45 × 2 (背面)
	サウンド	ライン出力 × 1、マイク入力 × 1 (背面)
	ディスプレイ <sup>*3</sup>	VGA: ミニ D-sub 15 ピン × 1、DVI-I 28 ピン × 1、ディスプレイポート × 2
ドライブベイ	5.25 型	2 (接続できる光ディスクドライブは 1 基まで)
	3.5 型 HDD	4 (接続できる HDD は 3 基まで)
拡張スロット	PCI Express x16	1: ボード長 312mm (フルサイズ) まで搭載可能 <sup>*4</sup>
	PCI Express x4	2: ボード長 312mm (フルサイズ) まで搭載可能 <sup>*4</sup>
セキュリティー機能	セキュリティーチップ (TPM2.0) : TCG準拠v2.0 セキュリティーロックスロット (背面)	
外形寸法 (幅 × 奥行 × 高さ) (突起部を除く)	約 180.0 × 405.0 × 368.0mm	
電源	AC100V ± 10% (50/60Hz) (入力波形は正弦波のみをサポート)	
	350W	
消費電力 (最大定格出力時) (理論値)	約 426.8W	
質量 (基本構成時)	約 9.2kg	
動作環境	動作温度: 10 ~ 35°C、動作湿度: 20 ~ 80% (結露しないこと)	

<sup>\*1</sup> 今後、使用可能なメモリーが追加される場合があります。また、それにとまない、最大搭載可能容量が変更になることがあります。メモリーの最新情報は、当社ホームページでご確認ください。

<sup>\*2</sup> 搭載されている CPU により、メモリーの動作周波数は異なります。(2400MHz または 2666MHz)  
ECCとNon ECCのメモリーを混在させて使用しないでください。

<sup>\*3</sup> 購入時、本機はアナログ出力 (VGA) に設定されているため、初回起動時は本機とディスプレイをアナログ接続してください。

デジタル出力 (DVI、ディスプレイポート) する場合は、UEFI Setup ユーティリティーで設定してください。

 p.48 「ディスプレイの出力切替 (アナログ/デジタル)」

<sup>\*4</sup> ボードの形状によっては、コネクタ類と干渉して装着できない場合があります。



本書に記載している仕様は製品発売時の情報です。最新情報は次の場所でご覧ください。

<http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?36489>

## 使用限定について

本製品は、OA 機器として使用されることを目的に開発・製造されたものです。

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全性維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮頂いた上で本製品をご使用ください。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命維持に関わる医療機器など極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用は意図しておりませんので、これらの用途にはご使用にならないでください。

## 本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、本製品の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないこともあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

## 電波障害について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI - B

## 瞬時電圧低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

## JIS C 61000-3-2 適合品

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

## レーザー製品安全基準

＜光ディスクドライブ搭載の場合＞

本機に搭載されている光ディスクドライブは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）に準拠したクラス 1 レーザー製品です。

＜レーザーマウス添付の場合＞

本機に添付されているレーザーマウスは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）に準拠したクラス 1 レーザー製品です。

## 公衆回線への接続

不特定多数の利用者が使用する公衆回線には、本機を直接つながないでください。

## 著作権保護法について

あなたがビデオなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

テレビ・ラジオ・インターネット放送や市販のCD・DVD・ビデオなどで取得できる映像や音声は、著作物として著作権法により保護されています。個人で楽しむ場合に限り、これらに含まれる映像や音声を録画または録音することができますが、他人の著作物を収録した複製物を譲渡したり、他人の著作物をインターネットのホームページなどに掲載（改編して掲載する場合も含む）するなど、私的範囲を超えて配布・配信する場合は、事前に著作権者（放送事業者や実演家などの隣接権者を含む）の許諾を得る必要があります。著作権者に無断でこれらの行為を行うと著作権法に違反します。

また、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

## ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしました。が、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

## 商標について

- Intel、インテル、Intel ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

そのほかの社名、製品名は、一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。

## 特許について

本製品は下記URLに掲載されているHEVC特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。

[patentlist.accessadvance.com](http://patentlist.accessadvance.com)



エプソンダイレクト ユーザーサポートページ  
[www.epsondirect.co.jp/support/](http://www.epsondirect.co.jp/support/)